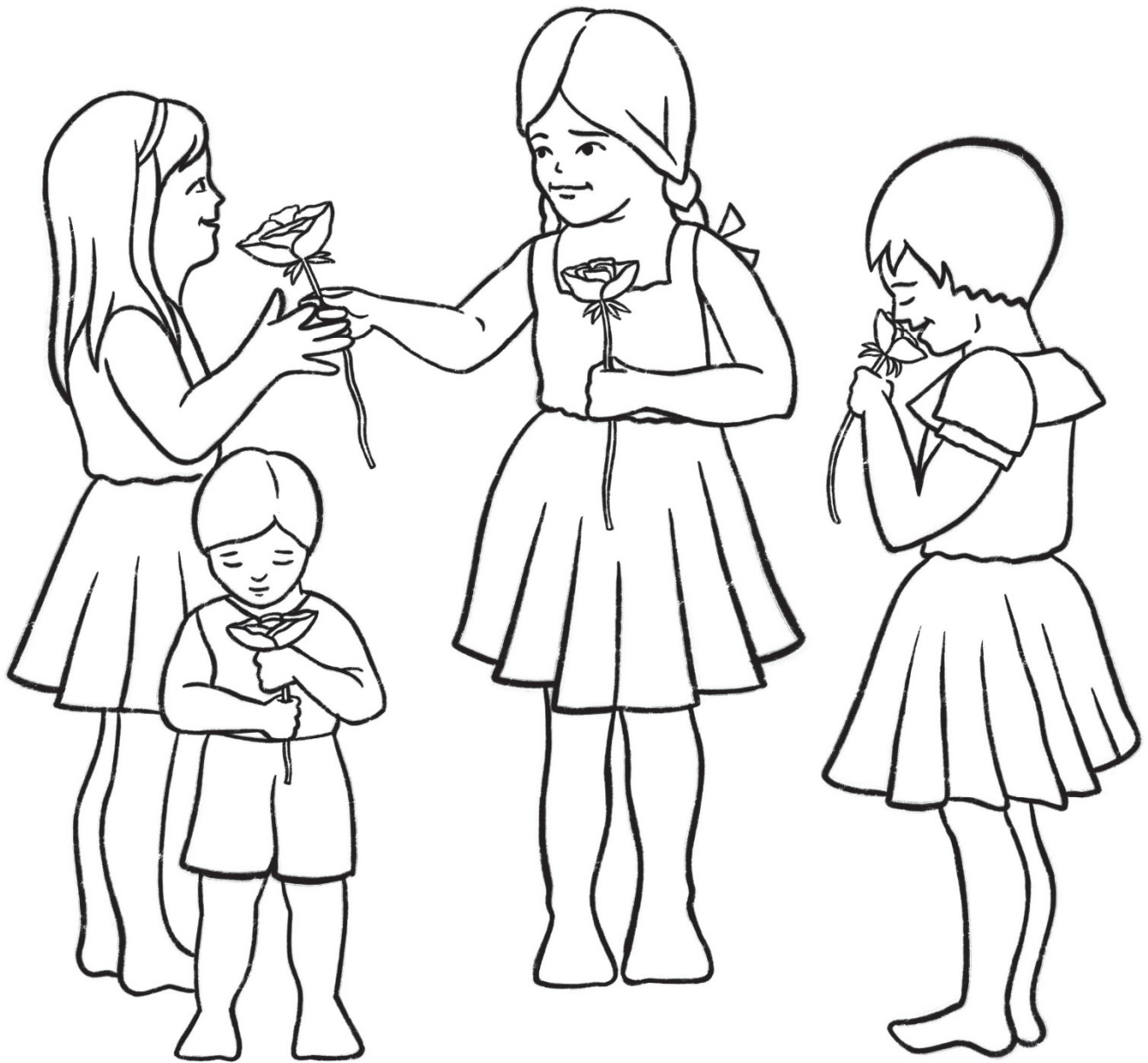




お^{しんれい}心^{しんれい}霊^{しんれい}の子^{しんれい}よ！わ^{ちゅうげん}が^{ちゅうげん}第^{ちゅうげん}一^{ちゅうげん}の忠^{ちゅうげん}言^{ちゅうげん}は^{ちゅうげん}こ^{ちゅうげん}れ^{ちゅうげん}で^{ちゅうげん}あ^{ちゅうげん}る^{ちゅうげん}。
す^{じゅんすい}な^{じゅんすい}わ^{じゅんすい}ち^{じゅんすい}、純^{じゅんすい}粋^{じゅんすい}に^{じゅんすい}し^{じゅんすい}て^{じゅんすい}優^{やさ}し^{やさ}く^{やさ}、ま^{かがや}た^{かがや}輝^{かがや}か^{かがや}し^{かがや}き^{かがや}心^{かがや}を^{かがや}持^{かがや}て^{かがや}。



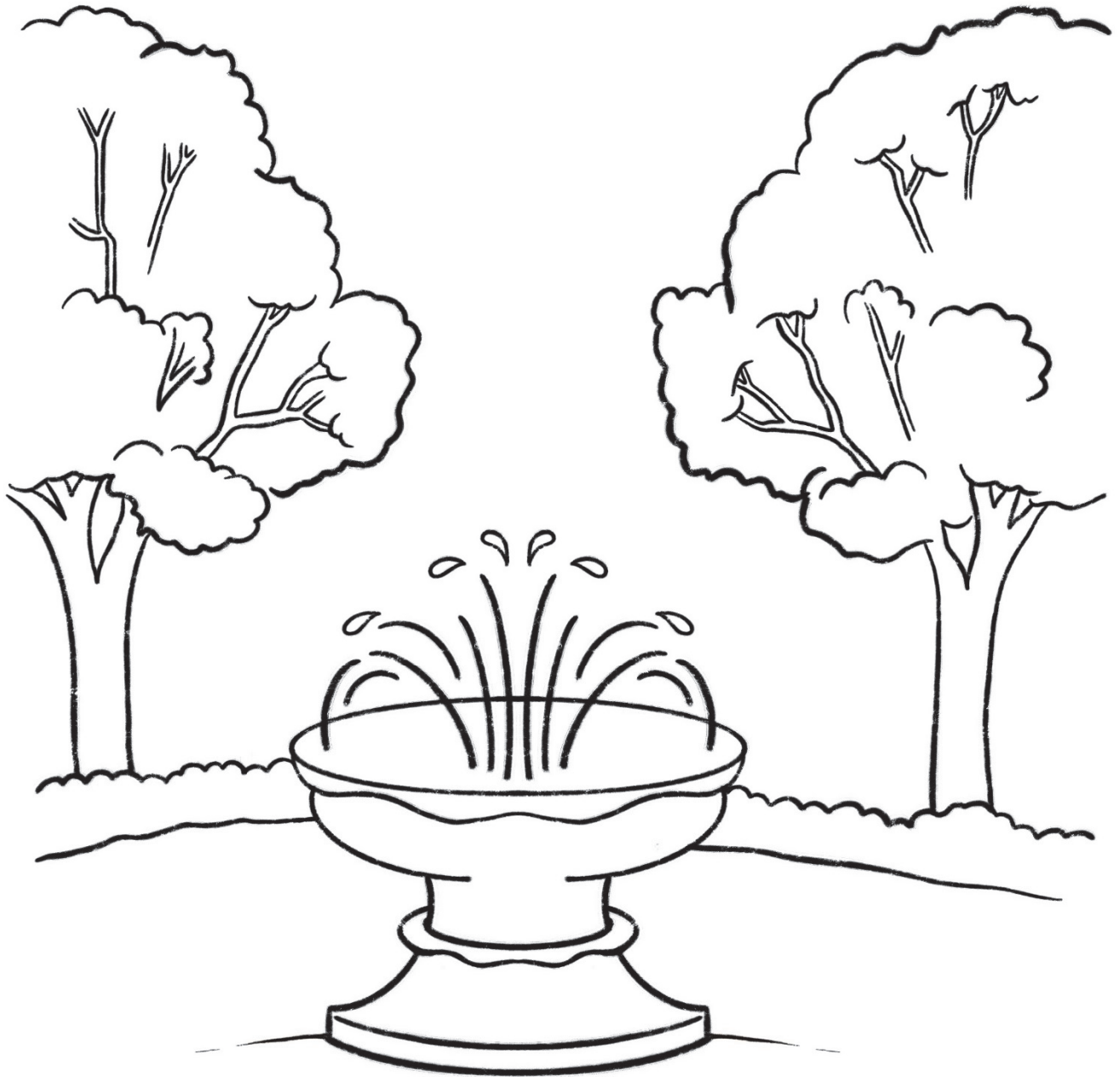
せいぎ みち
正義の道を歩みなさい。まこと誠にそれはまっすぐな道である。



おお、友よ！ 汝の心の花園に愛のバラのみを植えよ。



せいじつ びとく きそ
誠実であることは、すべての美德の基礎である。



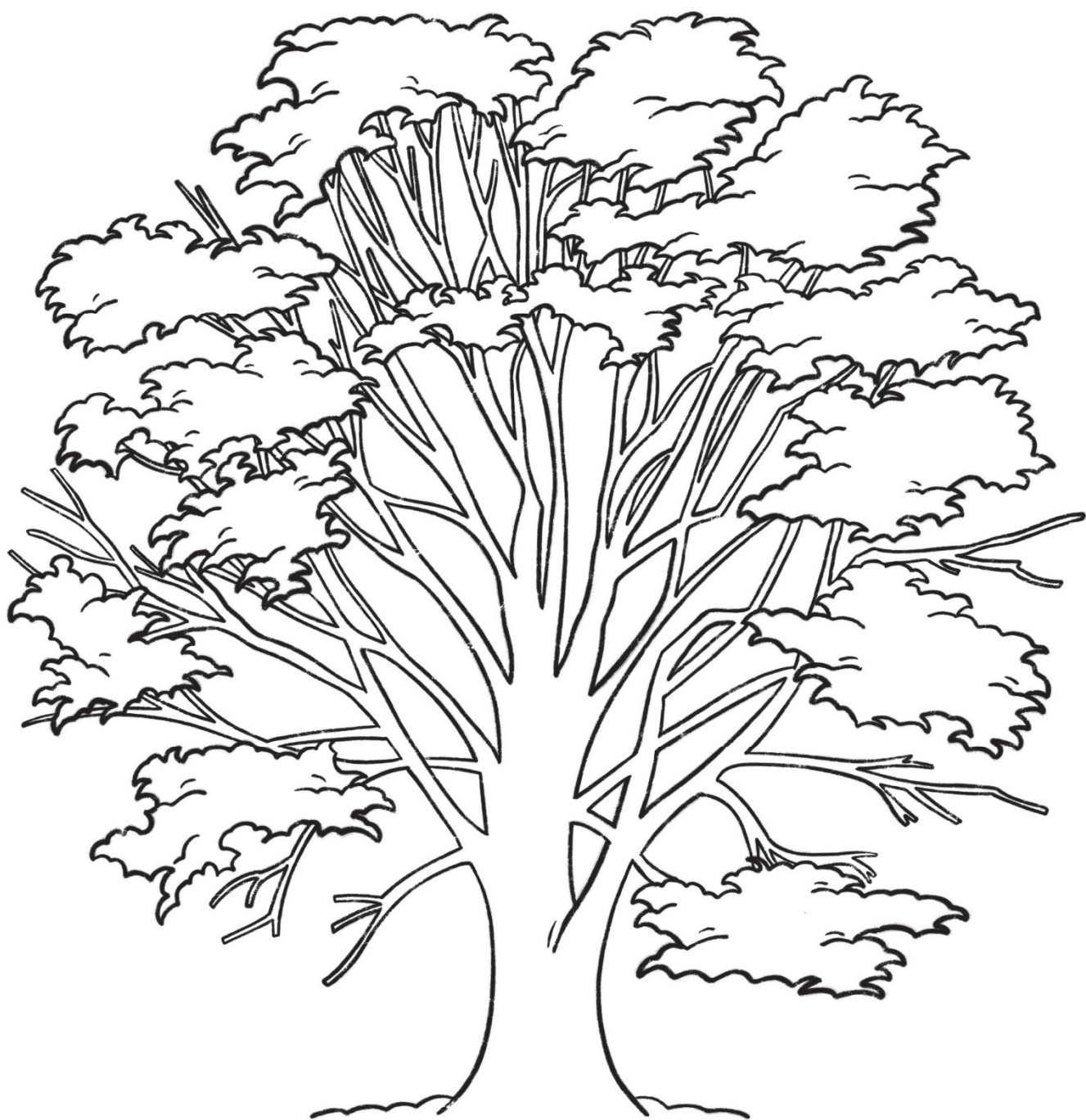
せよ かんだい ぞくせい
施与と寛大とはわが属性である。
びとく じこ かざ さいわ
わが美德をもって自己を飾る者は幸いである。



おのれ どうほう この さいわ
己よりも同胞の方を好む者は幸いである。



おお人の子よ！^{なんじ} 汝われに会い、
^び わが美を反映するに^{はんえい} 相応しくなれるよう^{ふさわ} 汝の心に^{よろこ} 喜びを持て。



私たちは、どんな時でも誠実と誠意を表さなければなりません…。



おお人の子よ！わが前にへりくだれ。さればわれ^{なんじ}汝^{めぐ}を恵み深く^{ぶか}訪^とわん。



しあわ 幸せでありなさい。かんしゃ 感謝しなさい。かみ 神に感謝するために立ち上がれば、
その感謝の気持ちはさらなるめぐみをもたらすでしょう。



ゆる　じ　ひ　ちようあい
許しと慈悲、そして、神の寵愛を受ける者の
心に喜びをもたらすものをもって自身じしんの飾りかざとせよ。



おお人々よ。正直しょうじきをもって自らの口を美しくせよ。真実しんじつをもって魂たましいを飾る装飾そうしょくとせよ。



神の王国は、^{びょうどう}平等と^{せいぎ}正義、すべての人に対する^{じひ}慈悲、思いやり、親切の^{つく}うえに創られる。



なんじ しん かざ
汝の真の飾りは、
神への愛と、神以外のすべてのものに囚われないことにあることを知りなさい…。



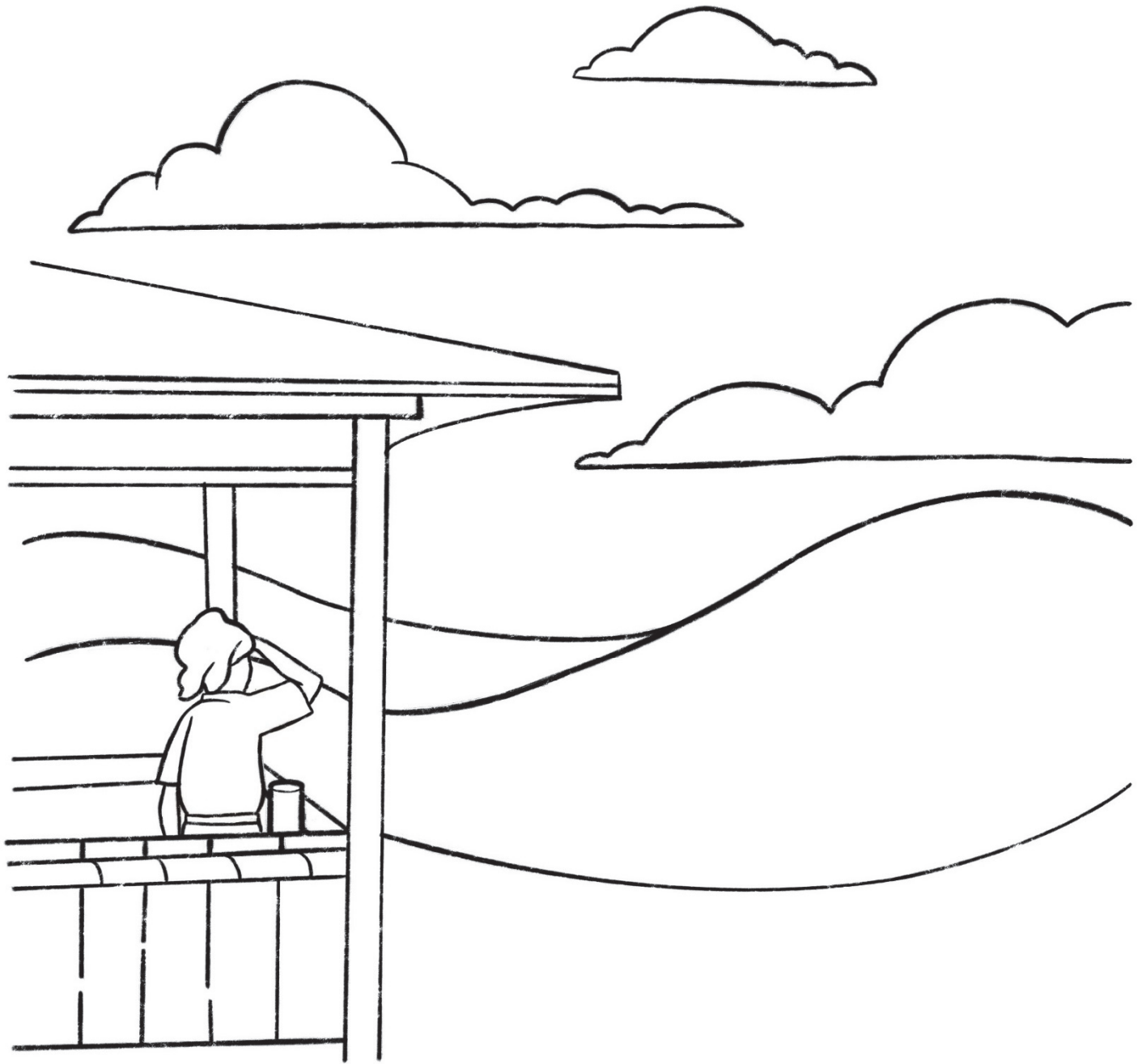
えいこう みなもと
栄光の源とは、
かみ さず たも 神が授け給うものをすべて受け入れ、
さだ 神が定め給うことにまんぞく満足することである。



しじょう しんせつ あい せいしん ぼんにん まじ しゆくふく
至上の親切と愛の精神をもって万人と交わる者に祝福あれ。



ゆうき　ちから　みなもと　かみ　ことば　あい　かつこ
勇気と力の源は、神の言葉を広め、神の愛に確固としていることである。



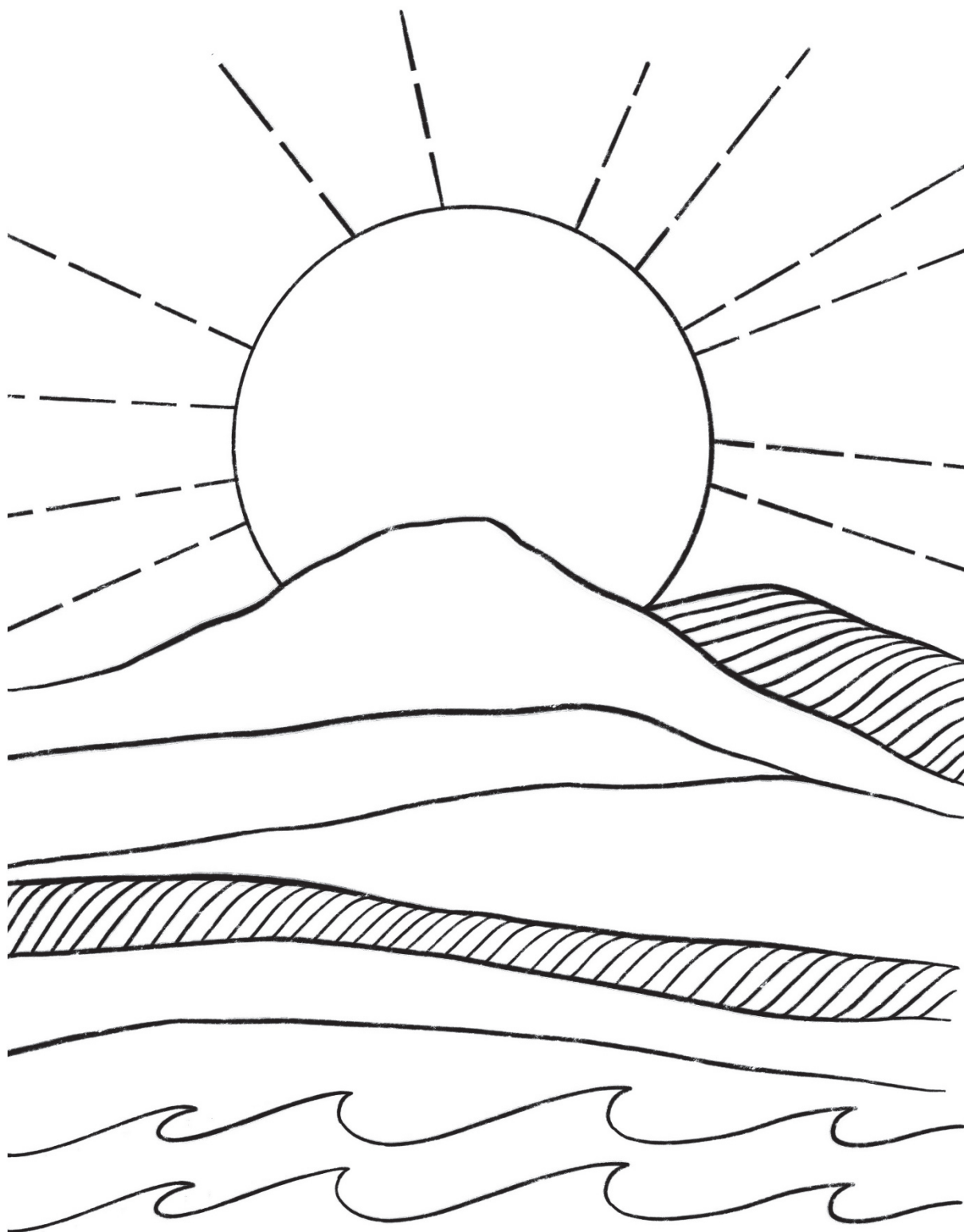
なんじ かみ しんらい けつ うしな つね きぼう
汝、神への信頼を決して失うことなきように。常に希望を持て。
なん おんちよう と だ そそ
何となれば、神の恩寵は決して途絶えることなく人間の上に注がれているからである。



しんらいせい へいおん あんぜん みちび さいだい もんこ
信頼性は人々を平穏と安全に導く最大の門戸である。



ひとびと
おお、人々よ、
他の人々の心^{こころ}を燃え立たせることができるように、神の愛^{あい}の熱^{ねつ}で燃え立ちなさい。



じつざい
おお実在の子よ！

なんじ 汝はわがランプであり、わが^{ひかり}光は汝のうちにある。汝それより汝の^{かがや}輝きを得よ。^え

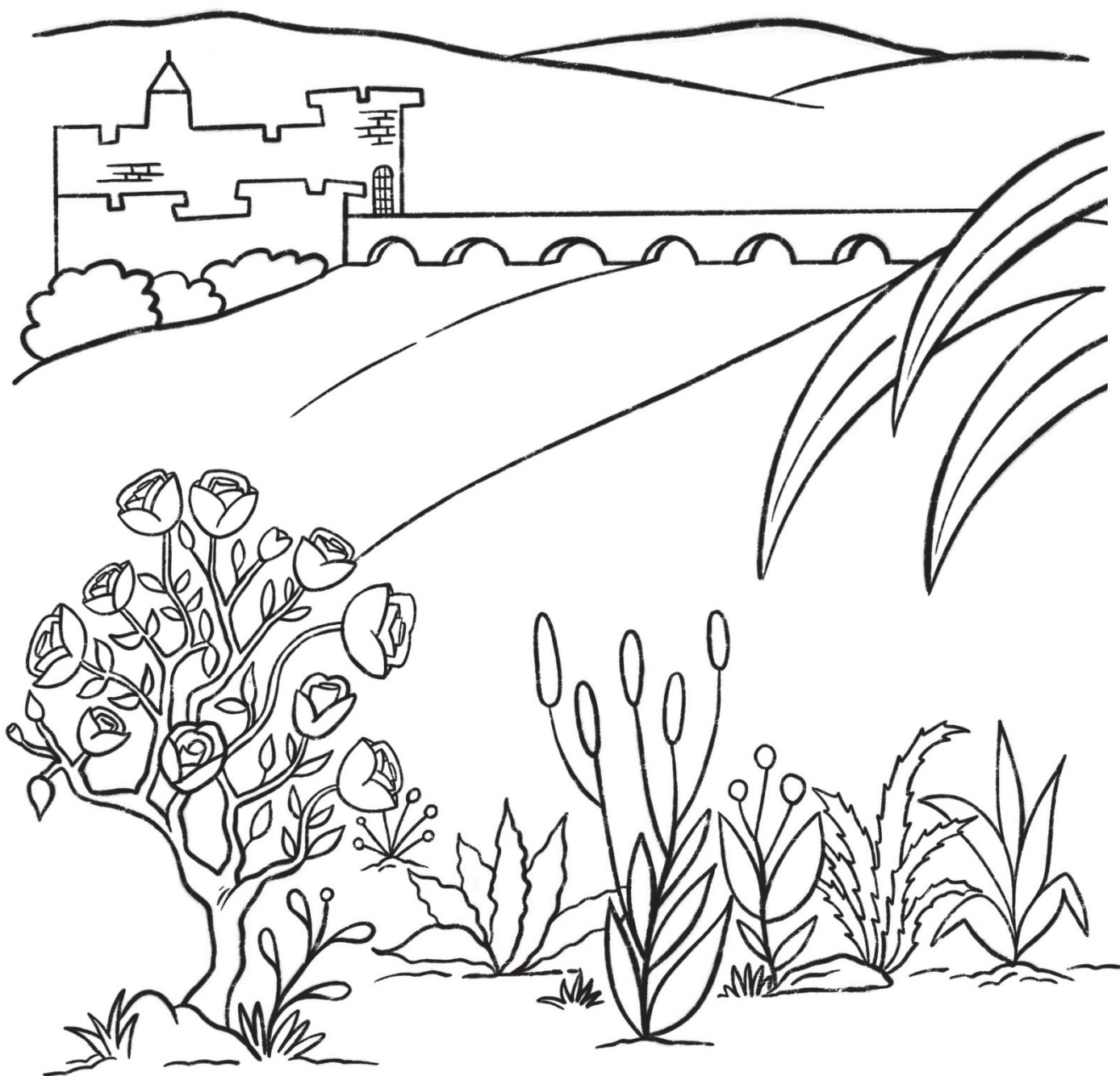
そしてわれ以外に何ものをも^{もと}求むるな。



おお どりよく いふく せいそう
大いなる努力という衣服で盛装し、
たいぎょう ほうし ちゅうじつ さいわ
この大業へ奉仕するために立ち上がった忠実なる者は幸いなり。



まこと
誠に、神は忍耐強く耐えるものの報酬をいや増し給う。



なんじ しゅ たいぎょう かっこふどう つづ ち い さいこう すうこう
汝の主の大業に確固不動であり続けるならば、 汝の地位は最高に崇高なものとなろう。